

寝屋川流域における土地利用と人口の推移

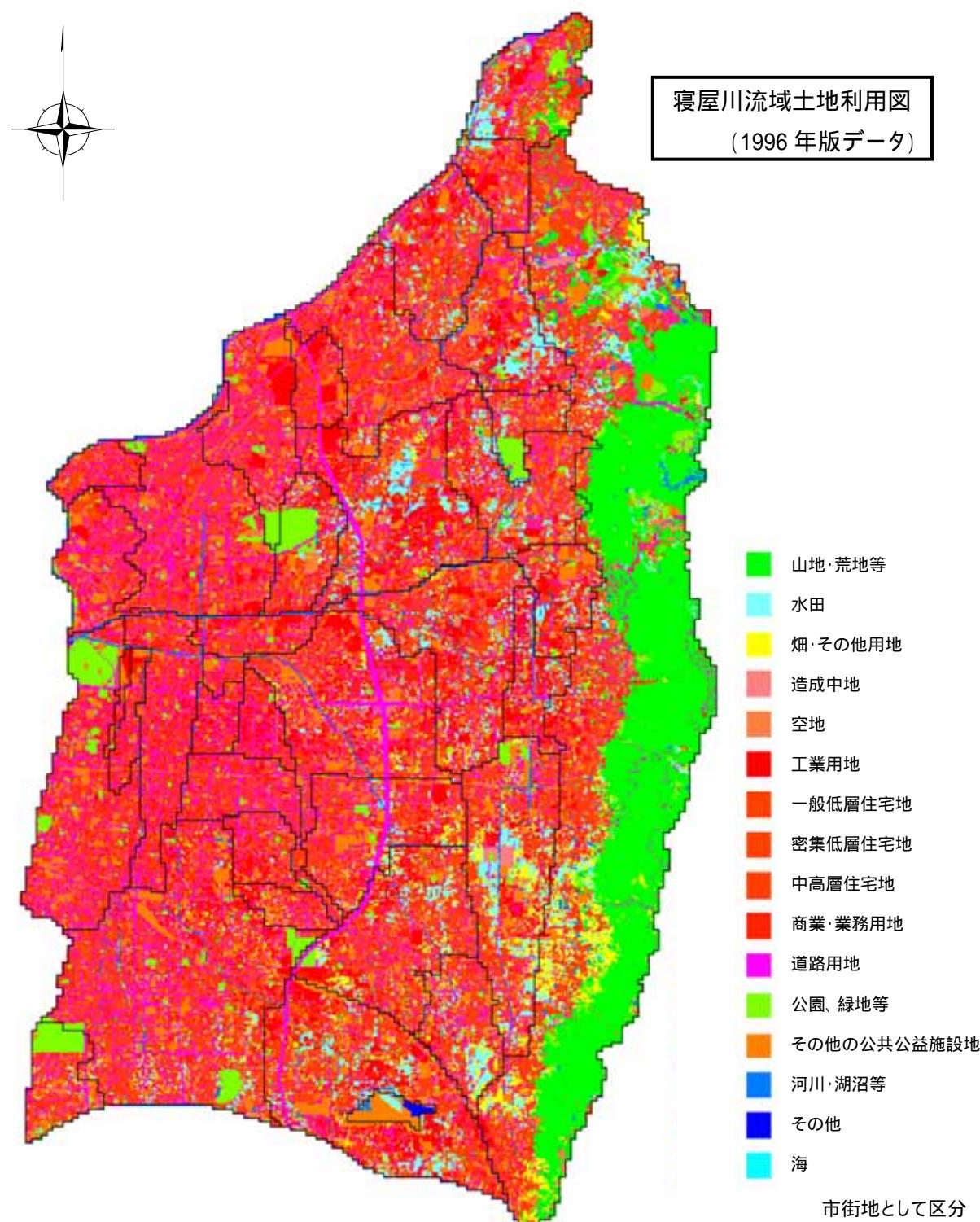


図 1 寝屋川流域土地利用図

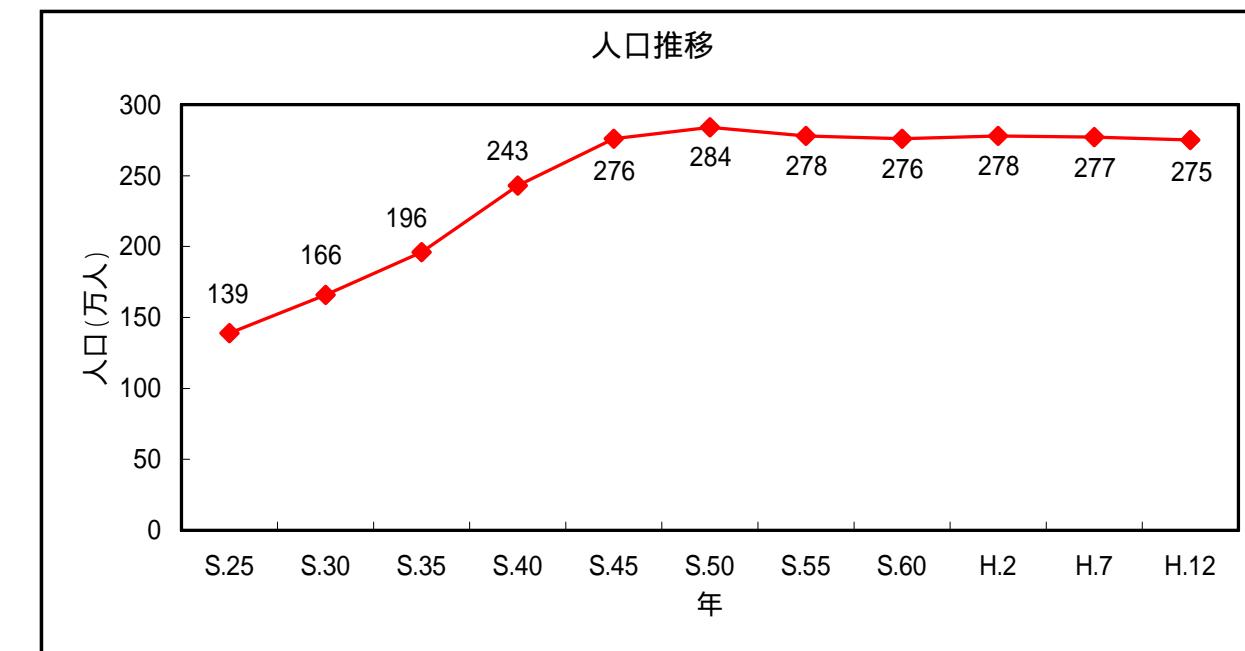


図 2 流域内人口の推移

寝屋川流域における文化財について

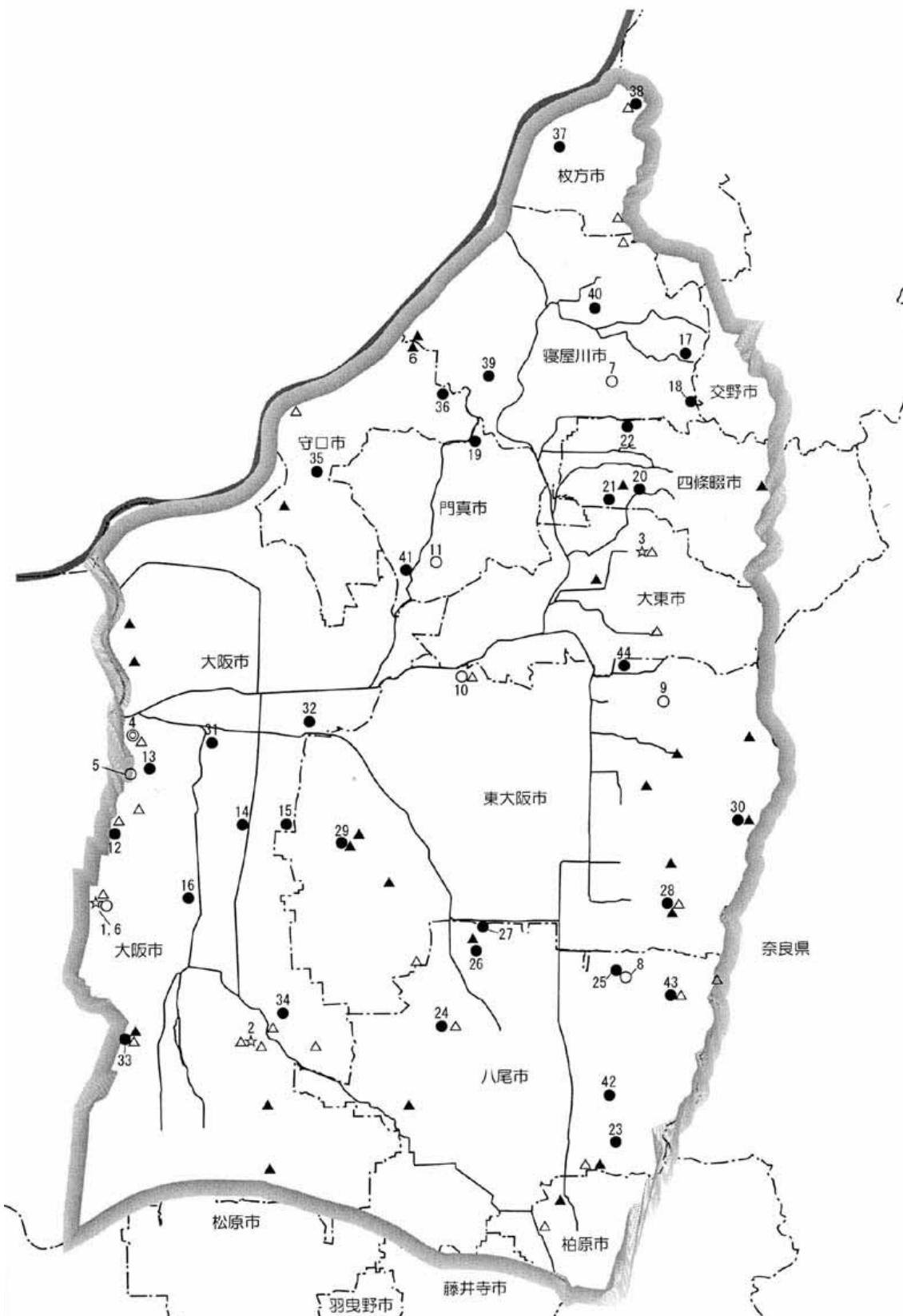


図 3 文化財位置図

表 1 文化財一覧表

指定	区分	名 称	所有者	制定年月日	所在地	図番
国 指定	国 宝	紙本著色 扇面法華経冊子(5帖・98葉)	四天王寺	M30.12.28	天王寺区	1
		懸守(7懸)	四天王寺	M30.12.28	天王寺区	1
		丙子椒林剣	四天王寺	T1.9.3	天王寺区	1
		七星剣	四天王寺	T1.9.3	天王寺区	1
		四天王寺縁起(2巻)	四天王寺	S24.2.18	天王寺区	1
		金銅 威奈大村骨臓器	四天王寺	M42.4.5	天王寺区	2
		綾本墨書 毛詩鄭箋残(1巻)	大念寺	M43.4.20	平野区	3
		短刀 銘;高市 住金吾藤貞吉(名物桑山保昌) 享二年甲子十月十八日	松本 高	S6.1.19	大東市	20
史跡・天然記念物	特・史跡	大坂城跡	国(管理団体 大阪市)	S30.6.24	中央区	4
		難波宮跡	国、大阪市、その他	第一次 S39.5.2 第二次 S51.3.31 第三次 S61.8.4	中央区	5
	史跡・名勝・天然記念物	四天王寺旧境内	四天王寺	S26.6.9	天王寺区	6
		契沖旧庵(円珠庵)ならびに墓	円珠庵	T11.3.8	天王寺区	6
		高宮廃寺跡	寝屋川市、大社御祖神社	S55.5.13	寝屋川市	7
		心合寺山古墳	国、八尾市ほか	S41.2.25	八尾市	8
		日下貝塚	東大阪市ほか	S47.7.26	東大阪市	9
		鴻池新田会所	東大阪市ほか	S51.12.25	東大阪市	10
		薰蓋のクス	三島神社	S13.5.30	門真市	11
		重要文化財 24ヶ所、63件				
府 指定	史跡・名勝・天然記念物	井原西鶴墓	誓願時	S13.5.11	中央区	12
		越中井	大阪市	S13.5.11	中央区	13
		僧契沖遺跡妙法寺境内	妙法寺	S46.3.31	東成区	14
		摂津笠縫邑跡	深江稻荷神社	S47.3.31	東成区	15
		御勝山古墳	大阪府	S47.3.31	生野区	16
		寝屋古墳	大阪府	H5.11.24	寝屋川市	17
		石宝殿古墳	打上神社	S48.5.10	寝屋川市	18
		伝次田堤	国	S49.3.29	門真市	19
		伝和田賢秀墓	四條畷神社	S45.12.7	四條畷市	20
		伝楠木正行墓	四條畷神社	S46.3.31	四條畷市	21
		忍丘古墳	忍陵神社、大正寺	S47.3.31	四條畷市	22
		恩智遺跡	恩智神社	H7.12.13	八尾市	23
		河内往生院伝承地	大信寺	S45.2.20	八尾市	24
		鏡塚古墳	個人	S45.12.7	八尾市	25
		萱振1号墳	大阪府	H1.3.1	八尾市	26
		木村重成墓	大阪府、八尾市	S14.2.6	八尾市	27
		河内往生院伝承地	往生院六万寺ほか	H7.12.13	東大阪市	28
		長榮寺境内	長榮寺	S46.3.31	東大阪市	29
		慈光寺	慈光寺	H3.3.29	東大阪市	30
		白山神社のいちょう	白山神社	S45.2.2	城東区	31
		阿遼速雄神社のくす	阿遼速雄神社	S45.2.20	鶴見区	32
		法楽寺のくす(1本)	法楽寺	S56.6.1	東住吉区	33
		旭神社のくす	旭神社	S56.6.1	平野区	34
		旭神社のいちょう	旭神社	S56.6.1	平野区	34
		旭神社のむく	旭神社	S56.6.1	平野区	34
		難宗寺のいちょう	妙楽寺	S4.8.10	守口市	35
		妙楽寺のつつじ	難宗寺	S50.3.31	守口市	36
		光善寺のさいかち	光善寺	S50.3.31	枚方市	37
		枚方田中邸のむく	個人	S45.2.20	枚方市	38
		神田天満宮のくすのき	上神田自治会、中神田自治会	S47.3.31	寝屋川市	39
		春日神社のしいの社叢	春日神社保存会	S56.6.1	寝屋川市	40
		・島のくす	個人	S45.2.20	門真市	41
		四條畷楠木正行墓のくす	四條畷神社	S46.3.31	四條畷市	21
		善光寺のくす	善光寺	S45.2.20	八尾市	42
		玉祖神社のくす	玉祖神社	S45.2.20	八尾市	43
		枚岡の原始ハス	個人	S45.2.20	東大阪市	44
	有形文化財	26ヶ所、37件				

参考資料：大阪府指定文化財 / 大阪府教育委員会文化財保護課 (1998)
大阪市の文化財 / 大阪市教育委員会 (1997)

寝屋川における過去の浸水状況について



図 4 浸水実績図(S27-S57)

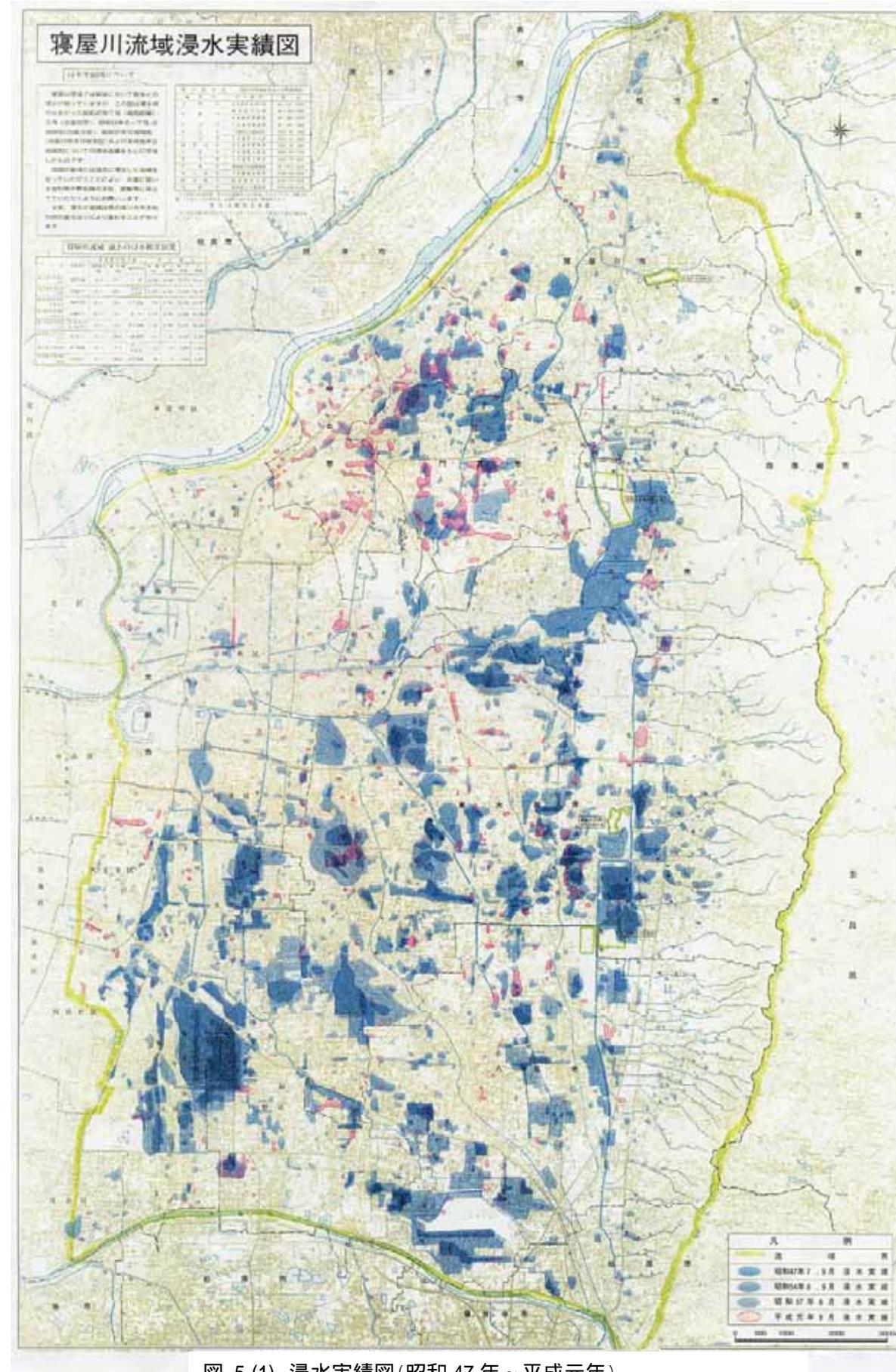


図 5 (1) 浸水実績図(昭和47年～平成元年)

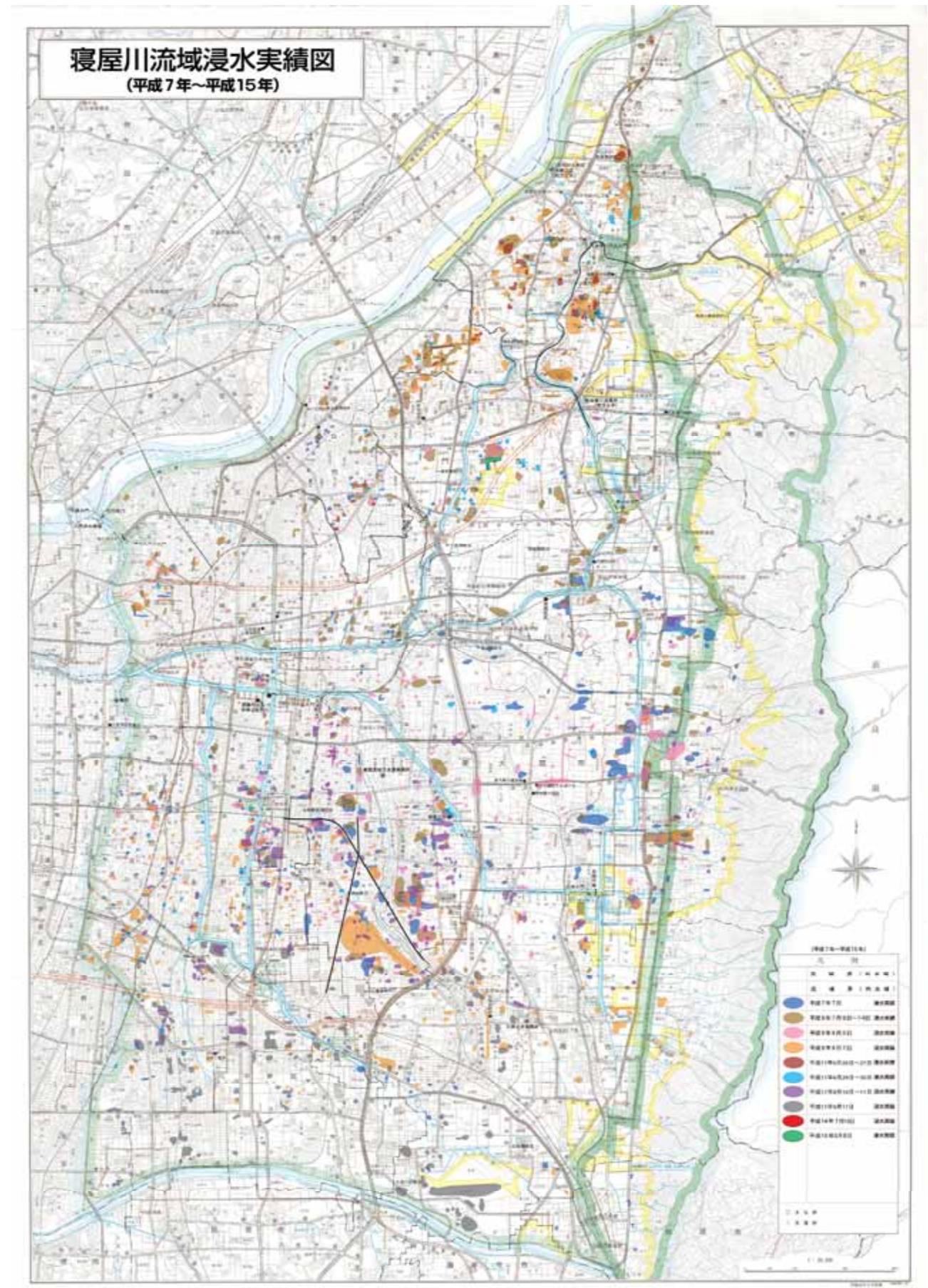


図 5 (2) 浸水実績図(H7～H15)

寝屋川の河川計画の経緯について

表 2 寝屋川の既往河川計画の比較

計画策定	第1次計画 昭和29年~	第2次計画 昭和51年~	第3次計画 昭和63年~(総合治水)	河川整備計画 平成14年~																														
背景	<p>低湿地からなる寝屋川流域は、極めて排水条件が悪く浸水を生じやすい自然条件にあった。淀川・大和川の外水対策は歴史的に実施されていたが、寝屋川流域独自の洪水に対する本格的な河川事業は行なわれていなかった。戦後になって復興に向かうこの時期、大阪府総合計画審議会が設置されるなど、近代化に向けての土地利用構想が検討され始めた。特に大阪市に隣接する当流域は交通機関の利便性もあり、商都大阪の後背地としての社会要請が強まり、昭和27年から調査を行い3カ年で策定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和45年を想定した計画 (流域の市街化率 25% ~ 45%) 外水については自然流下するとして、内水については市街地排水はポンプにより、農地は湛水深20cm、湛水時間24hrを許容 <p>寝屋川流域の治水計画における内水量の変化</p>	<p>流域の開発が予想以上に広範囲かつ急激であった。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">昭和45年における東部大阪地域の開発状況</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 昭和29年策定期予想 実績</td> <td>S60年</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>105万人</td> <td>170万人</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>51km²</td> <td>158km²</td> </tr> </table> <p>地盤沈下が激しく、特に中流部で著しく沈下した。 昭和29年計画の河川勾配が維持出来なくなった。 寝屋川の下流部の勾配：旧計画 1/3700 昭和42年 1/5000 昭和32年に昭和29年計画を上廻る降雨が発生した。</p> <p>単位:mm</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1時間</td> <td>2時間</td> <td>6時間</td> <td>12時間</td> <td>24時間</td> </tr> <tr> <td>昭和29年 計画の降雨</td> <td>61.8</td> <td>91.1</td> <td>150.9</td> <td>173.1</td> <td>175.6</td> </tr> <tr> <td>昭和32年の 降雨</td> <td>62.9</td> <td>125.0</td> <td>241.1</td> <td>268.2</td> <td>311.2</td> </tr> </table> <p>(昭和29年計画降雨とは明治29年8月30日降雨である)</p> <p>農耕地の減少による自然遊水機能の低下 (湛水を許容すると考えられた平野部が市街化され河川へ強制的に排水) 地盤沈下による河川堤防の機能低下 地盤沈下による内水区域の拡大 下水道整備に伴う河川への排水量の増大 山地部の乱開発による流出量の増大 農耕地の宅地化による浸水被害の顕在化 農業用水路の都市排水路化</p>	昭和45年における東部大阪地域の開発状況		備考	1) 昭和29年策定期予想 実績		S60年	人口	105万人	170万人	市街化区域	51km²	158km²		1時間	2時間	6時間	12時間	24時間	昭和29年 計画の降雨	61.8	91.1	150.9	173.1	175.6	昭和32年の 降雨	62.9	125.0	241.1	268.2	311.2	<p>寝屋川流域の治水対策は、国や関係自治体の重点施設として取り組まれ、治水施設は着実に整備されてきた。しかし、流域の都市化の進展は、河川や下水道計画策定当時の予想を大きく上まわり、都市域の浸水被害は減少せず災害が繰り返され、特に昭和57年8月の台風および低気圧による豪雨は、都市域にこれまでにない形の浸水被害をもたらし都市化の実態と出水状況の変化について十分な検討を行う必要が生じた。(内水洪水による浸水被害の解消)大都市圏の治水目標水準は、十分な安全性を有する事が望まれてきた。</p> <p>↓</p> <p>昭和59年11月 寝屋川流域総合治水対策調査委員会設立 昭和60年11月 寝屋川流域都市水防災協議会設立²⁾ (流域関係11市、大阪府、建設省) 昭和62年2月 寝屋川流域総合治水対策調査委員会報告書(委員会開催により取りまとめ) 昭和63年3月 寝屋川流域都市水防災協議会 寝屋川流域都市水防災総合計画策定 平成2年4月 寝屋川流域総合治水対策協議会 寝屋川流域整備計画策定 ・21世紀初頭の都市化を想定</p>	<p>明治29年に旧河川法が制定され近代河川制度が誕生し、その後昭和39年に水系一貫管理制度の導入など幾たびかの改正を経て治水・利水の体系的な制度の整備が図られた。しかし、社会経済の変化により河川制度をとりまく状況は大きく変化しており、河川は、治水・利水の役割だけでなくうるおいのある水辺空間や多様な生物の生育・生息環境であり、地域の風土と文化を形成する重要な要素としてその個性を生かした川づくりが求められてきている。こうした状況の中、平成9年に新河川法が制定され、河川整備の基本となるべき方針に関する事項(河川整備計画)と具体的な河川整備に関する事項(河川整備計画)に区分し、後者については地方公共団体の長、地域住民の意見を反映する必要が生じた。</p> <p>↓</p> <p>河川整備委員会での審議経過</p> <ul style="list-style-type: none"> H13.7.27 H13第2回委員会(方針) H13.9.21 H13第3回委員会(方針・計画) H13.11.5 H13第4回委員会(方針・計画) H13.12.19 H13第5回委員会(計画) <p>住民意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域懇談会7回(参加者136名) 地元説明会3回(参加者32名) 河川整備計画(案)縦覧 府4箇所、関係10市、意見記入者23名
昭和45年における東部大阪地域の開発状況		備考																																
1) 昭和29年策定期予想 実績		S60年																																
人口	105万人	170万人																																
市街化区域	51km²	158km²																																
	1時間	2時間	6時間	12時間	24時間																													
昭和29年 計画の降雨	61.8	91.1	150.9	173.1	175.6																													
昭和32年の 降雨	62.9	125.0	241.1	268.2	311.2																													
計画内容	<p>流域面積 269.35 km² 最大実績雨量(大阪) M29.8.30 計画降雨 61.8 mm/hr 175.6 mm/24hr 流出係数 0.25 ~ 0.35 基本高水流量 536 m³/s 計画高水流量 536 m³/s</p>	<p>内水区域 199.82 km² 外水区域 67.78 km² 間接流域 21.0 km² 269.70 km² 最大実績雨量(八尾) S32.6.26 62.9 mm/1hr 311.2 mm/24hr 0.8(内水) 0.42 ~ 0.8(外水) 0.8(内水)については、下水道ポンプ能力で制限 1650 m³/s 850 m³/s</p>	<p>内水区域 205.7 km² 外水区域 61.9 km² 267.6 km² 最大実績雨量(八尾) S32.6.26 0.8(外水) 0.42 ~ 0.8(内水) 2700 m³/s (流域基本高水流量) 2400 m³/s(基本高水流量) 計画規模：外水域からの流出：1/100 内水域からの流出：1/40</p>	<p>内水区域 205.7 km² 外水区域 61.9 km² 267.6 km² 最大実績雨量(八尾) S32.6.26 0.8(外水) 0.42 ~ 0.8(内水) 2700 m³/s (流域基本高水流量) 2100 (2400) m³/s(基本高水流量) ()数字は長期目標 計画規模：外水域からの流出：1/80 (1/100) 内水域からの流出：1/10(1/40)</p>																														
洪水処理方策	<p>主要事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二寝屋川新川開削 S30~S43 平野川分水路新川開削 S28~S38 大阪市とその周辺の都市排水工事 寝屋川水域に合流する農業用排水工事 生駒山麓における砂防工事 	<p>河川改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 河床を掘り下げ、矩形断面 放流施設(分水路等) (現状の施設・水路の有効活用) 毛馬排水機場洪水時淀川(城北運河の利用) 寝屋川導水路等 游水対策水路を 洪水時に運用 淀川へ 貯留施設(遊水地) 寝屋川治水緑地 恩智川治水緑地 	<p>[流域基本 高水流量] 2,700 m³/s</p> <p>流域施設による対策 [基本高水流量] 2,400 m³/s</p> <p>流域対策 300 m³/s (貯留 400 万 m³)</p>																															

¹⁾ 東部大阪地域：枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、交野市、四條畷市、東大阪市、八尾市、柏原市²⁾ 平成元年に寝屋川流域総合治水対策協議会に名称変更(さらに、平成16年に寝屋川流域協議会に名称変更)

寝屋川流域内の貯留施設の実績について

寝屋川治水緑地(平成3年完成) (130 m³/sカット 容量 146万 m³)

貯留実績 計13回 (平成17年3月末現在)

年月日	S57.8.2	S59.6.26	H 1.9.3	H 2.7.12	H 5.7.2	H 7.7.3	H 7.7.4	H 9.7.13	H 9.8.7
貯留量	22.5万m³	17万m³	94万m³	14万m³	0.7万m³	1万m³	25万m³	7万m³	2万m³
気象原因	台風10号	梅雨前線	台風22号	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	低気圧

年月日	H11.6.27	H11.6.29	H11.8.11	H16.10.20
貯留量	2万m³	5.7万m³	92万m³	60.5万m³
気象原因	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	台風23号

Bゾーンにも貯留
Cゾーンにも貯留

年月日	H11.6.29	H11.8.11	H12.7.4	H12.8.19	H12.9.2	H12.11.1	H13.8.6	H13.8.10	H13.10.1
貯留量	12.7万m³	18.3万m³	3.7万m³	1.2万m³	2.5万m³	1.4万m³	1.5万m³	0.21万m³	0.95万m³
気象原因	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	低気圧	低気圧	前線	梅雨前線	不明	寒冷前線

年月日	H13.10.10	H15.5.8	H15.8.10	H15.8.14	H15.8.26	H15.9.24	H15.9.25	H16.6.21	H16.9.4
貯留量	0.96万m³	6.0万m³	2.0万m³	1.8万m³	4.6万m³	2.6万m³	1.6万m³	0.86万m³	2.4万m³
気象原因	低気圧	前線	台風10号	前線	前線	前線	前線	台風6号	前線

年月日	H16.9.5	H16.9.29	H16.10.20
貯留量	0.3万m³	1.1万m³	8.2万m³
気象原因	前線	台風21号	台風23号

完成した流域調節池の貯留実績

貯留実績(平成17年3月現在)

調節池名称	計画貯留量	貯留回数	初回貯留量	最大貯留量	H16 貯留実績
香里西	8,000 m³	77回	H3.6.13 V=5,560 m³	H9.8.7 V= 8,000 m³	11回
大正川	14,000 m³	25回	H3.8.30 V= 650 m³	H11.8.11 V=14,000 m³	1回
志紀	15,000 m³	75回	H7.7.3 V=9,250 m³	H7.7.7 V=15,000 m³	8回
布施駅前	12,000 m³	39回	H8.6.18 V=4,000 m³	H15.5.20 V=12,500 m³	7回
三ツ島	24,000 m³	28回	H9.7.13 V=5,400 m³	H16.10.20 V=14,600 m³	5回
南郷	10,000 m³	15回	H9.8.5 V=1,132 m³	H16.10.20 V= 5,200 m³	2回
長瀬	23,000 m³	18回	H10.6.19 V=5,802 m³	H15.5.20 V=22,000 m³	7回
御幸西	20,000 m³	15回	H12.7.4 V=1,500 m³	H16.10.20 V=10,100 m³	5回
中鴻池	20,100 m³	12回	H12.7.5 V=5,600 m³	H15.5.20 V=20,100 m³	7回
一番町	15,000 m³	6回	H15.5.8 V=15,000 m³	H15.5.8 V=15,000 m³	5回
萱島	26,000 m³	5回	H16.9.4 V=5,600 m³	H16.10.20 V=26,000 m³	5回
大久保	16,000 m³	回	V= - m³	V= m³	回

志紀調節池については、流域対応分5,000m³含む
出典：大阪府資料

恩智川(池島・福万寺)治水緑地

(平成14年3月期概成 80 m³/sカット 89万m³完成)(計画 160 m³/sカット 容量 165万 m³)

貯留実績 計28回 (平成17年3月末現在)

年月日	H7迄延	H8.6.18	H9.7.9	H9.8.6	H9.8.7	H9.9.8	H9.11.28	H10.6.19	H10.6.22
貯留量	49.1万m³	3.3万m³	1.0万m³	9.0万m³	19.0万m³	4.0万m³	6.0万m³	16.0万m³	20.0万m³
気象原因	(9回)	梅雨前線	梅雨前線	低気圧	低気圧	低気圧	低気圧	梅雨前線	梅雨前線

年月日	H10.9.22	H11.6.27	H11.6.29	H11.8.11	H13.6.24	H15.5.8	H15.6.24	H15.9.24	H15.10.13
貯留量	3.0万m³	3.0万m³	15.0万m³	60.0万m³	11.0万m³	3.7万m³	1.7万m³	3.1万m³	4.3万m³
気象原因	低気圧	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	寒冷前線	梅雨前線	前線	低気圧

年月日	H16.5.13	H16.10.20
貯留量	40.9万m³	46.9万m³
気象原因	低気圧	台風23号

花園多目的遊水地(平成14年3月概成) (50 m³/sカット 容量 32万 m³)

貯留実績 計2回 (平成17年3月末現在)

年月日	H16.5.13	H16.10.20
貯留量	3.8万m³	40.9万m³
気象原因	低気圧	台風23号

打上川治水緑地(平成8年完成) (35 m³/sカット 容量 27万 m³)

貯留実績 計30回 (平成17年3月末現在)

年月日	H7.7.3	H8.6.18	H9.7.13	H9.8.5	H9.8.7	H10.6.21	H10.10.16	H11.5.27	H11.6.27
貯留量	2万m³	0.02万m³	3万m³	1万m³	7万m³	1万m³	2.9万m³	3.3万m³	11.3万m³
気象原因	梅雨前線	梅雨前線	梅雨前線	集中豪雨	低気圧	梅雨前線	前線	梅雨前線	梅雨前線

北部地下河川古川調節池の貯留実績

貯留実績(17年3月現在)

調節池名称	計画貯留量	貯留回数	初回貯留量	最大貯留量	H16 貯留実績
古川	90,000m³	6回	H15.5.8 V=32,010 m³	H16.10.20 V=90,000 m³	4回

南部地下河川平野川調節池の貯留実績

貯留実績(17年3月現在)

調節池名称	計画貯留量	貯留回数	初回貯留量	最大貯留量	H16 貯留実績
平野川	550,000m³	36回	S61.7		

流出解析手法

- ・流域全体の流域基本高水は、外水域および内水域に一樣の雨を降らし、流出計算モデルを用いて各流域からの流出量を算定するとともに、その流量が全量河道に流入した場合を仮定して算定する。
 - ・外水域からの流出量は流域分割毎、内水域からの流出量は集水区毎に算定する。
 - ・基本高水は、流域基本高水と同様に、外水域と内水域に一樣の雨を降らし、外水域からの流出量は全量河道へ流入、内水域からは、特定都市下水道からの流量の全量が河道へ流入した場合の河道流量を算定する。
 - ・都市浸水対策量については、既定の下水道計画で使用している算定手法を用いて、河川への放流量及び雨水貯留浸透量を算定する。

表 3 流出解析手法一覽

項目	算定手法	流出計算の分割 及び流出係数	備考
流域基本高水 (河川管理者が算定)	合理式	各下水道集水区毎 0.42 ~ 0.80	
基本高水 (河川管理者が算定)	合理式 内水域は を流量換 算した流入を上限	各下水道集水区毎 0.42 ~ 0.80	
特定都市下水道の目 標処理量 (下水道管理 者が算定)	エスペイ法 プリックス式 合理式	集水区内の幹線毎 0.40 ~ 0.90	

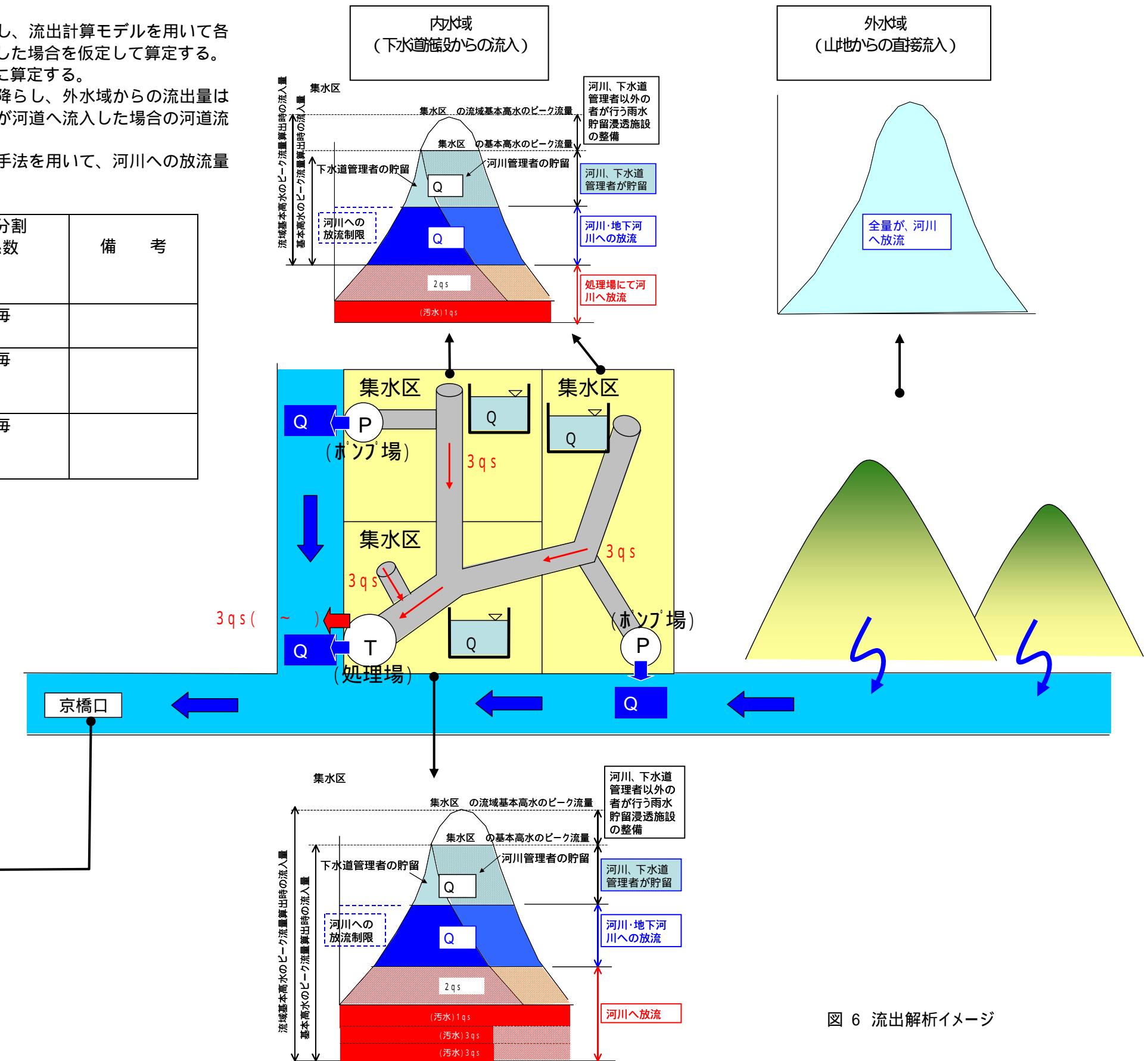
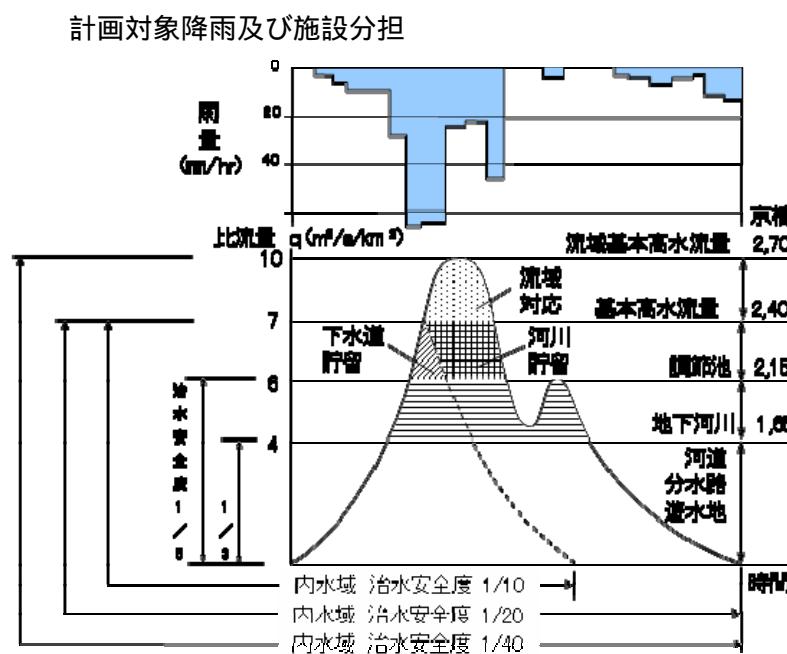


図 6 流出解析イメージ

京橋口地点の流量分担計画

参考 基本高水処理分担

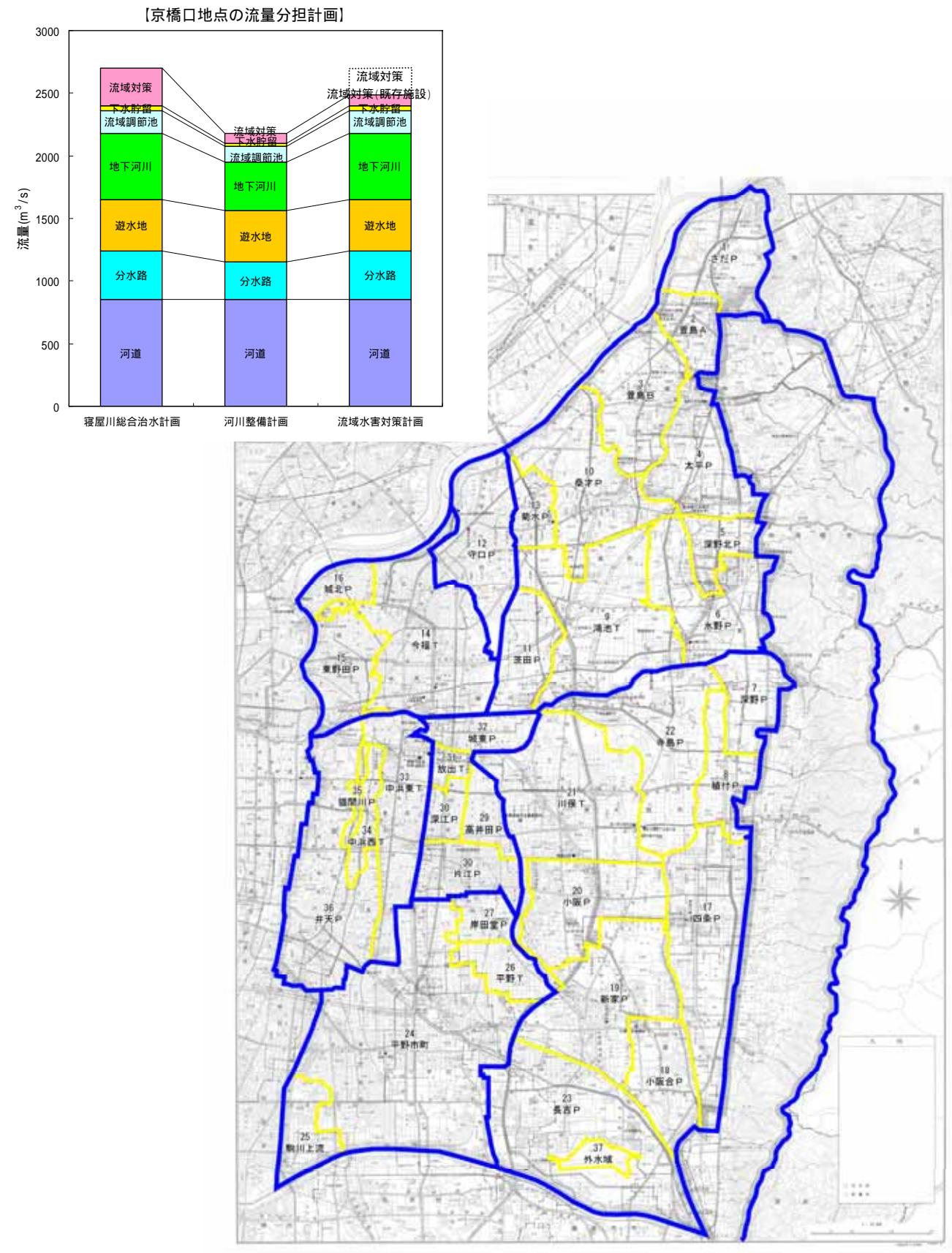


図 7 内水域の集水区分割

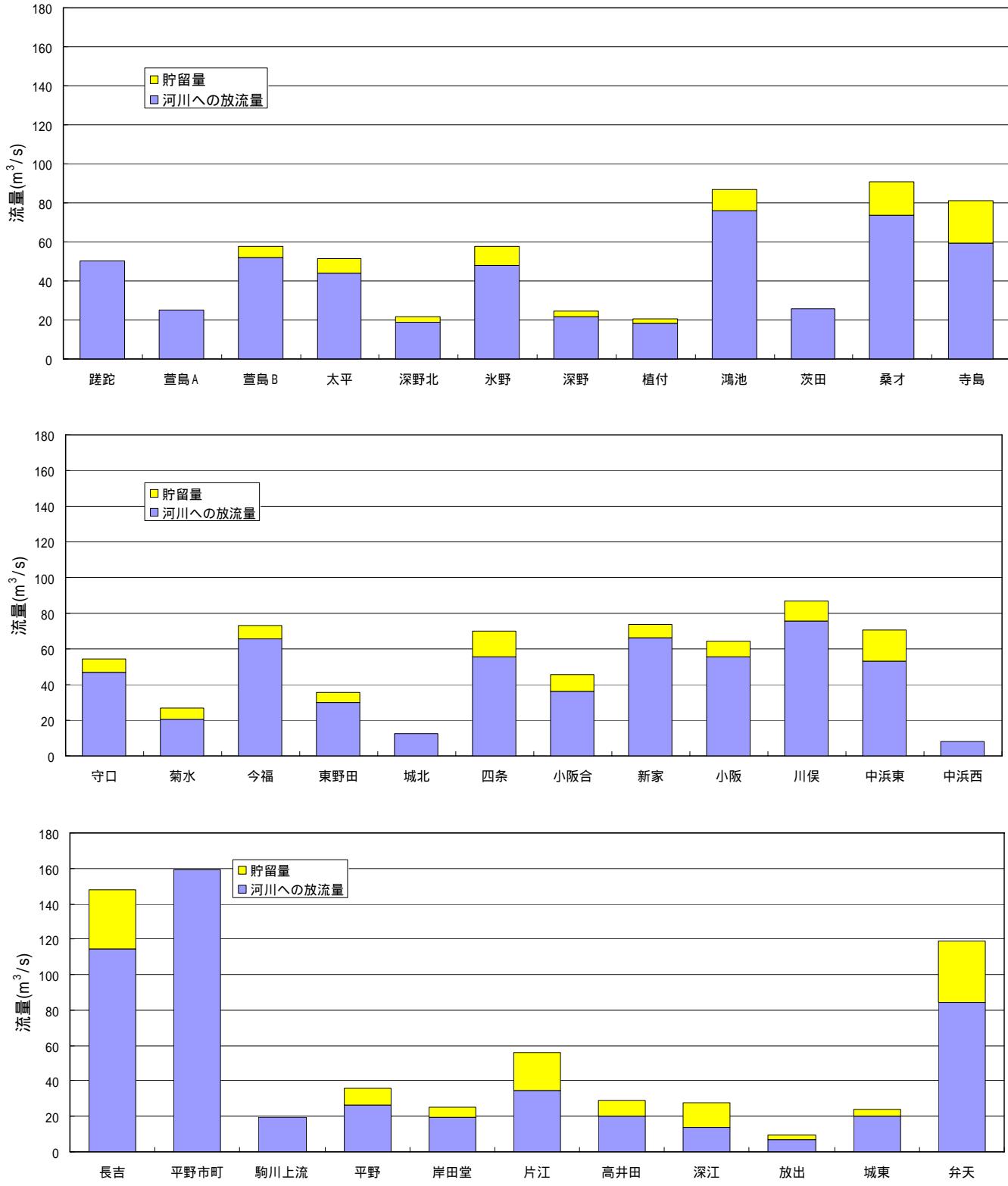


図 8 内水域の基本高水処理分担

治水安全度の評価について

等危険度線理論(降雨を用いて、放流規模と貯留規模を複合的に評価する手法)によって評価を行うと、外水防御計画は、治水安全度 1/100 となり、内水処理対策の評価を行うと治水安全度 1/40 となる。

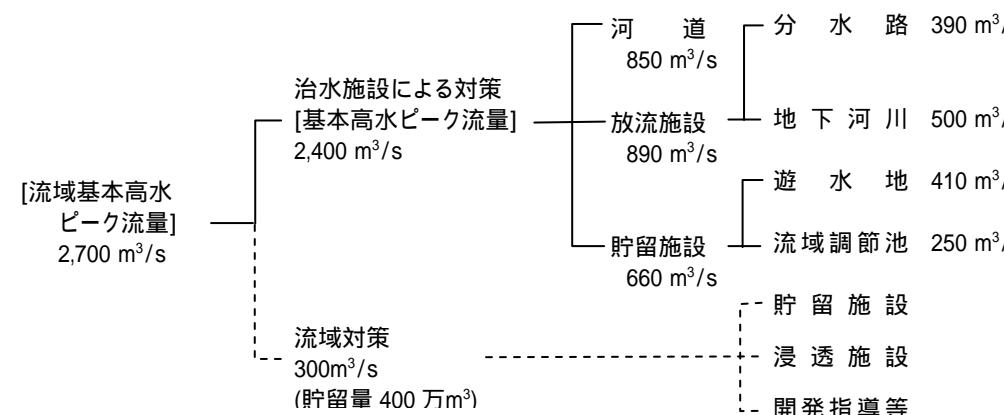


図 9 河道及び洪水調節施設への配分

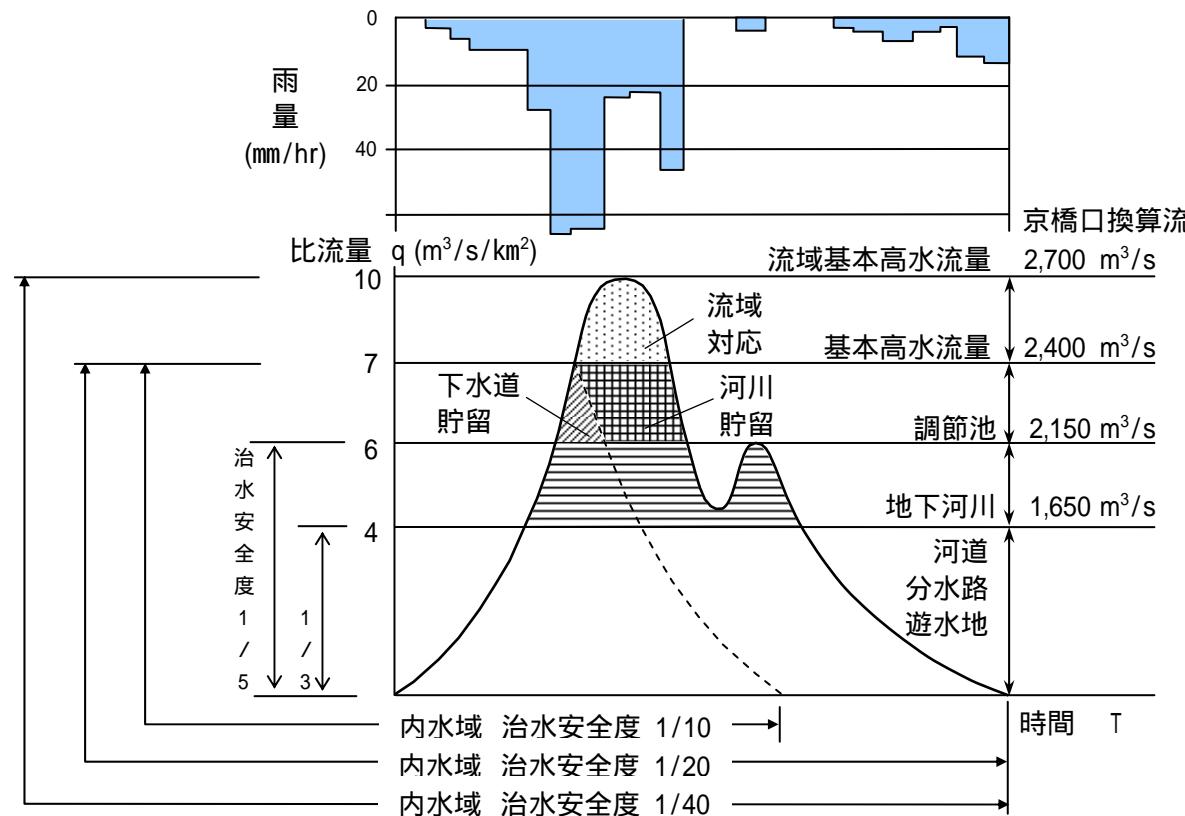
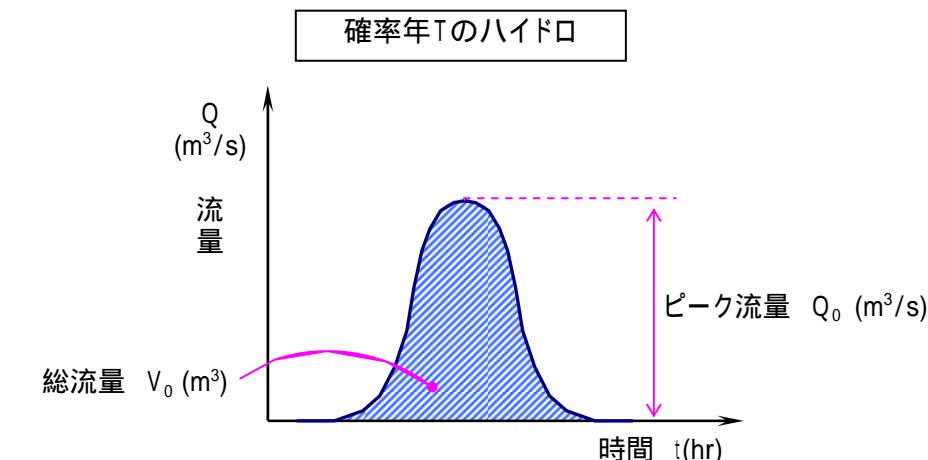


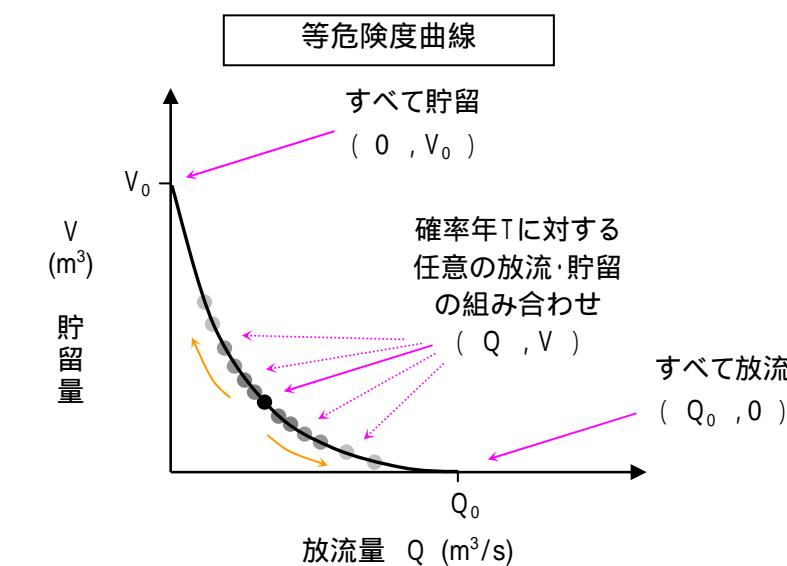
図 10 河道及び洪水調節施設への配分と内水域の治水安全度

等危険度曲線とは

確率年 T のハイドロに対して、どのような組み合わせが考えられるか？ を表現したものが等危険度曲線。



$$\frac{V}{V_0} = \frac{(Q - Q_0)^S}{Q_0^S}$$



放流施設 + 貯留施設 併用の場合は、
ピーカー流量と総流量の結合分布に基づいて
安全度評価や施設の容量決定がなされるべき。

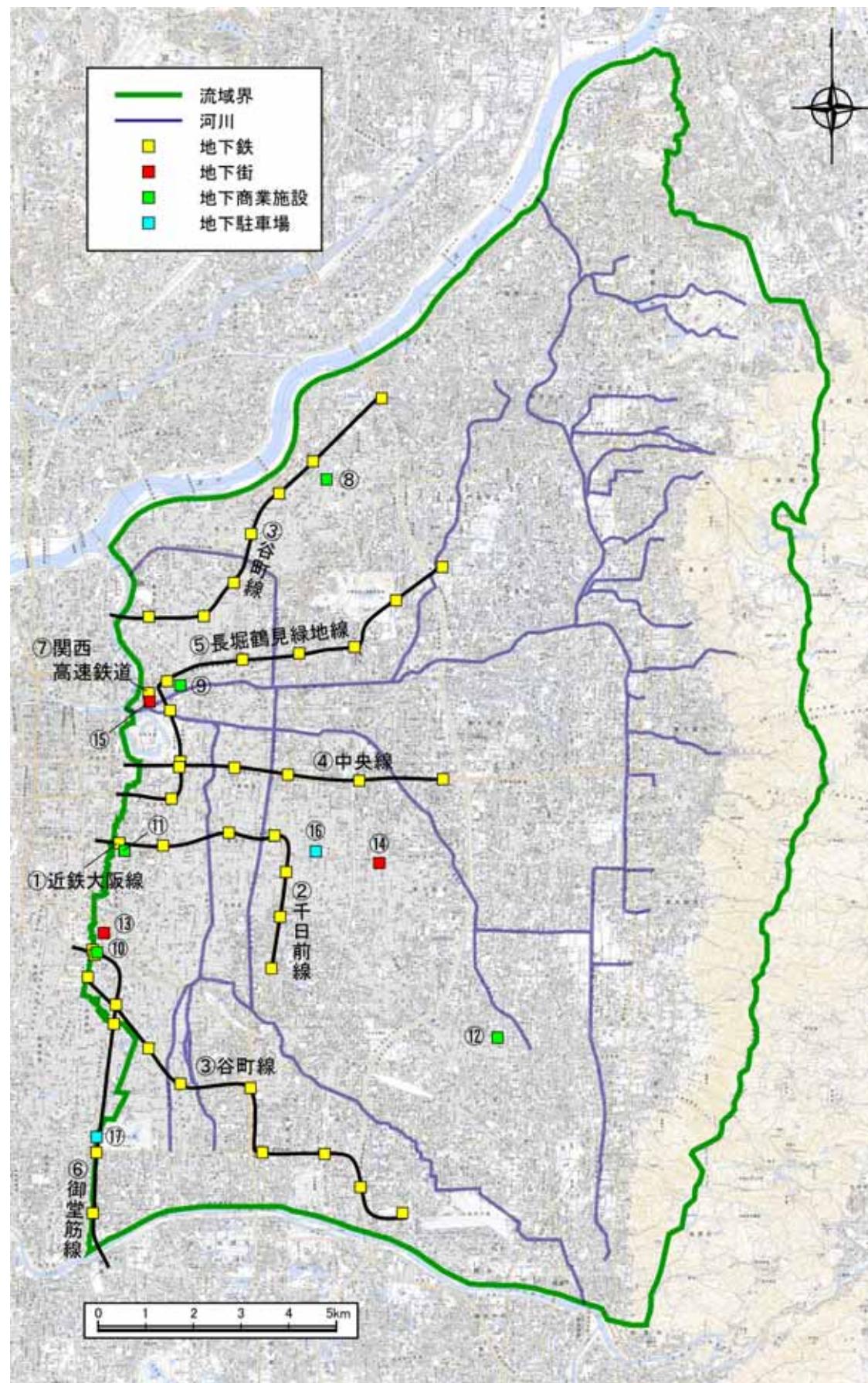


図 11 寝屋川流域の主な地下空間

表 3 寝屋川流域の主な地下空間

分類	施設名	管理者等名	備考
地下鉄	大阪線上本町駅	近畿日本鉄道(株)	
	千日前線鶴橋駅	大阪市交通局	
	千日前線今里駅	大阪市交通局	
	千日前線新深江駅	大阪市交通局	
	千日前線小路駅	大阪市交通局	
	千日前線北巽駅	大阪市交通局	
	千日前線南巽駅	大阪市交通局	
	谷町線大日駅	大阪市交通局	
	谷町線守口駅	大阪市交通局	
	谷町線太子橋今市駅	大阪市交通局	
	谷町線千林大宮駅	大阪市交通局	
	谷町線關目高殿駅	大阪市交通局	
	谷町線野江内代駅	大阪市交通局	
	谷町線都島駅	大阪市交通局	
	谷町線天王寺駅	大阪市交通局	
	谷町線阿倍野駅	大阪市交通局	
	谷町線文の里駅	大阪市交通局	
	谷町線田辺駅	大阪市交通局	
	谷町線駒川中野駅	大阪市交通局	
	谷町線平野駅	大阪市交通局	
	谷町線喜連瓜破駅	大阪市交通局	
	谷町線出戸駅	大阪市交通局	
	谷町線長原駅	大阪市交通局	
	谷町線八尾南駅	大阪市交通局	
中央線	中央線森ノ宮駅	大阪市交通局	
	中央線綠橋駅	大阪市交通局	
	中央線深江橋駅	大阪市交通局	
	中央線高井田駅	大阪市交通局	
	中央線長田駅	大阪市交通局	
長堀鶴見緑地線	長堀鶴見緑地線玉造駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線森ノ宮駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線京橋駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線蒲生四丁目駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線今福鶴見駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線横提駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線鶴見緑地駅	大阪市交通局	
	長堀鶴見緑地線門真南駅	大阪市交通局	
御堂筋線	御堂筋線天王寺駅	大阪市交通局	
	御堂筋線昭和町駅	大阪市交通局	
	御堂筋線長居駅	大阪市交通局	
	御堂筋線我孫子駅	大阪市交通局	
	関西高速鉄道大阪城北詰駅	関西高速鉄道(株)	
商業施設	京阪百貨店 守口店	(株)京阪百貨店	
	京阪百貨店 京橋店	(株)京阪百貨店	
	近鉄百貨店 本店	(株)近鉄百貨店	
	近鉄百貨店 上本町店	(株)近鉄百貨店	
	西武百貨店 八尾西武	(株)西武百貨店	
地下街	アベノ地下街	大阪地下街(株)	
	樟蔭学園地下道	(学)樟蔭学園	
地下駐車場	コムズガーデン	大阪地下街(株)	
	布施駅北口地下	東大阪市駐車場整備(株)	
	長居公園地下駐車場	大阪市道路公社	

河川整備計画での整備対象区間について

表 4 河川整備計画対象区間一覧表

河川名	番号	工事実施区間	事業内容	延長	備考
河川	1	住之井橋	橋梁改築		
	2	外環状鉄道	河道改修	L=0.1k t	
	3	住之井橋～西村橋上流	垂直緑化		
	4	古宮橋	橋梁改築		
	5	三ツ島大橋～古川橋下流	河道改修	L=2.1k t	
	6	松の鼻橋～池之島橋	堤防整備		
	7	寝屋川合流点～御供田新橋	垂直緑化		
	8	池之島橋～上流端	河道改修	L=7.0k t	
	9	三箇大橋外	橋梁改築		
	10	恩智川治水緑地	遊水地	貯留量 165万m ³ 89万m ³ (完成)	
流域調節池	11	恩智川(花園)多目的遊水地	遊水地	貯留量 32万m ³	
	12	恩智川(法善寺)多目的遊水地	遊水地	貯留量 16万m ³	
	13	鳩川橋～八尾空港北濠上流	河道改修	L=1.0k t	
	14	枚方富田林泉佐野線下流～上流端	河道改修	L=0.2k t	
	15	国道1/0号～上流端	河道改修	L=1.3k t	
	16	砂溜上流～旧国道1/0号	河道改修	L=0.3k t	
	17	寝屋川合流点～旧淀川(大川)合流点	河道改修	L=5.6k t	
	18	寝屋川北部地下河川	地下河川	暫定貯留量 約19万m ³	
	19	寝屋川南部地下河川	地下河川	放流量 180m ³ /s	
	20	萱島調節池	調節池	貯留量 2.6万m ³	
内水による浸水対策	21	東諸福調節池	調節池	貯留量 2.6万m ³	
	22	八尾広域防災基地調節池	調節池	貯留量 3.2万m ³	
	23	大久保調節池	調節池	貯留量 1.6万m ³	
	24	八戸の里公園(小阪)調節池	調節池	貯留量 3.7万m ³	
	25	大東中央調節池	調節池	貯留量 5.7万m ³	
	26	宝町調節池	調節池	貯留量 2.2万m ³	
	27	布施公園(高井田)調節池	調節池	貯留量 0.9万m ³	
	28	(仮称)新家集水区第1調節池	調節池	貯留量 約5万m ³	
	29	(仮称)鴻池集水区第4調節池	調節池	貯留量 約3.5万m ³	
	30	(仮称)寿島集水区第2調節池	調節池	貯留量 約4.5万m ³	
	31	(仮称)四条集水区第1調節池	調節池	貯留量 約4.5万m ³	
	-	その他	調節池	貯留量 約15.4万m ³	

凡 例	
整備済み区間	計画対象区間
河道	河道改修等
遊水地	環境整備
地下河川	遊水地
調節池	地下河川
	調節池

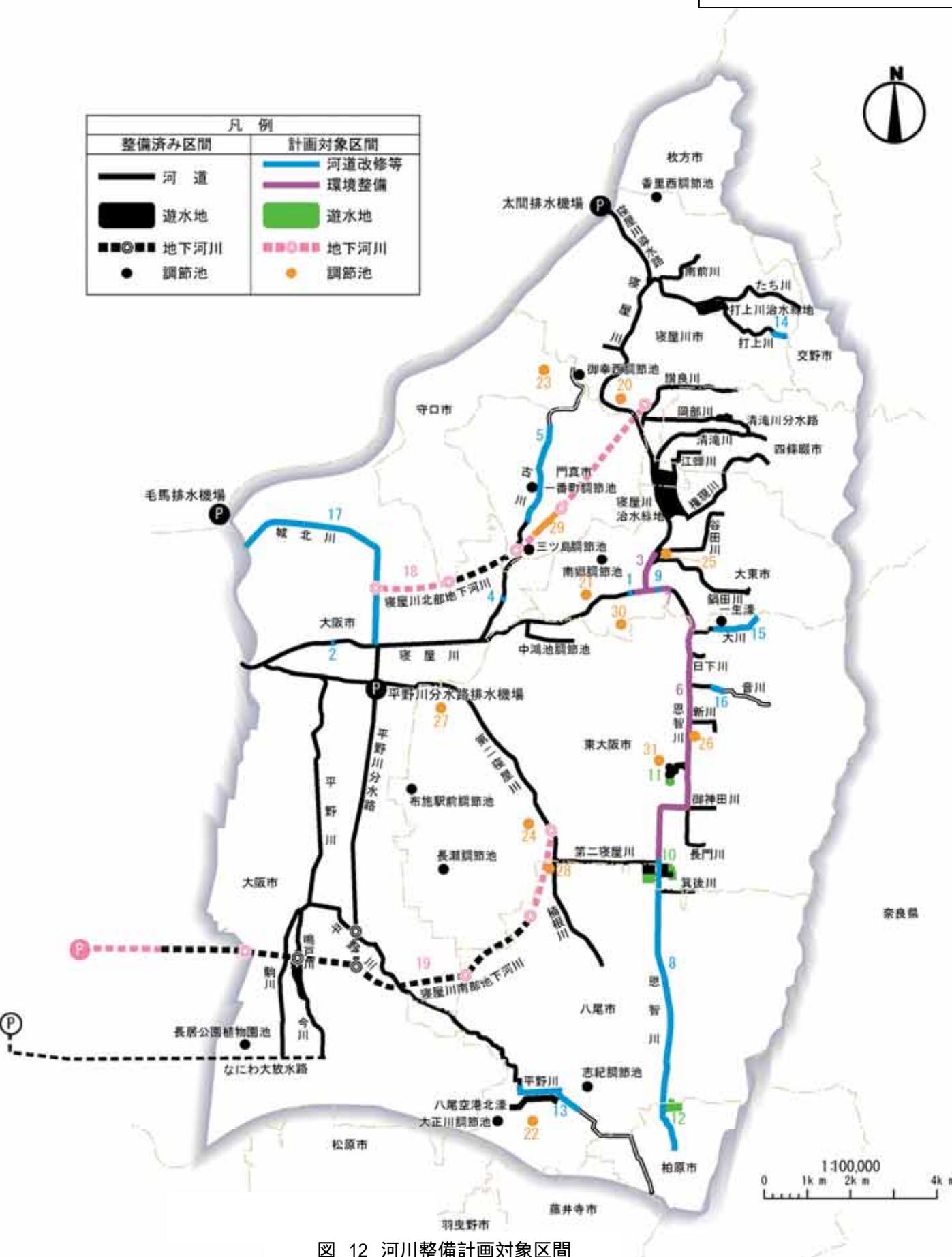


図 12 河川整備計画対象区間

出典：淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（平成14年7月）

ポンプ施設の詳細な運転操作ルールの検討に係る方針

- (1) 各河川のポンプ施設の運転操作にかかる基準点の設定
既往の洪水における水位上昇傾向や現況流下能力、水位観測所の有無等を考慮して、流域特性を反映したポンプ施設の運転操作を行うための基準点を設定する。
- (2) 基準点毎の運転操作対象ポンプの設定
破堤の危険性が高い地点と基準点水位の相関関係を整理し、各ポンプ排水の河川水位上昇に対する影響度合いに応じ、基準点毎の運転操作対象ポンプを設定する。
- (3) 基準点毎の危険水位の設定
(1)で設定した基準点毎の危険水位については、堤防の構造、破堤の想定等を考慮に入れて設定する。
- (4) ポンプ運転操作開始水位及び調整運転解除水位等の設定
各河川の基準点において、ポンプの運転操作に要する作業時間やポンプ性能等を考慮し、ポンプ運転操作に係る準備水位及び開始水位、また運転操作等により河川水位が下がった後の調整運転を解除する水位をそれぞれ決定する。

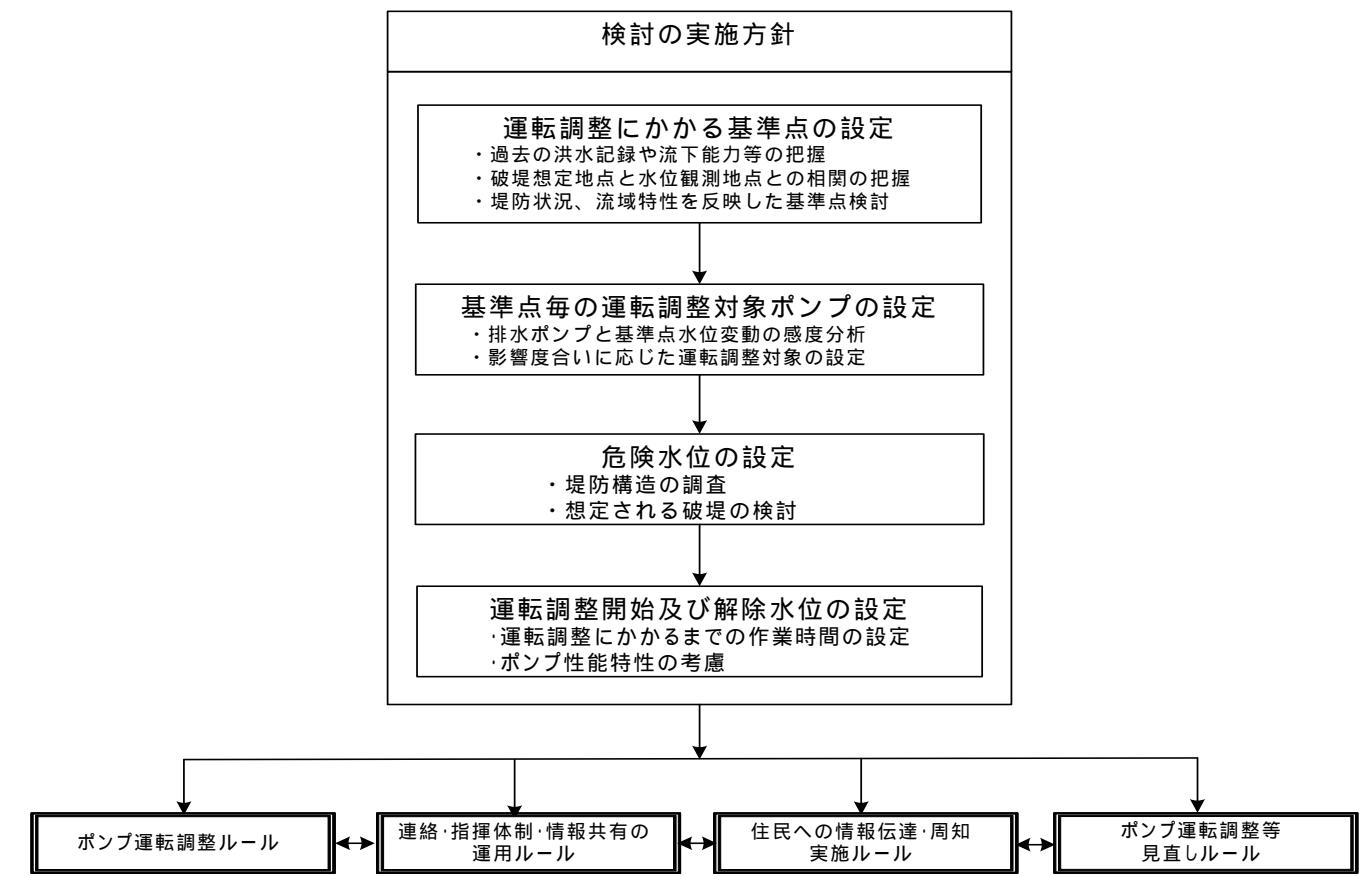
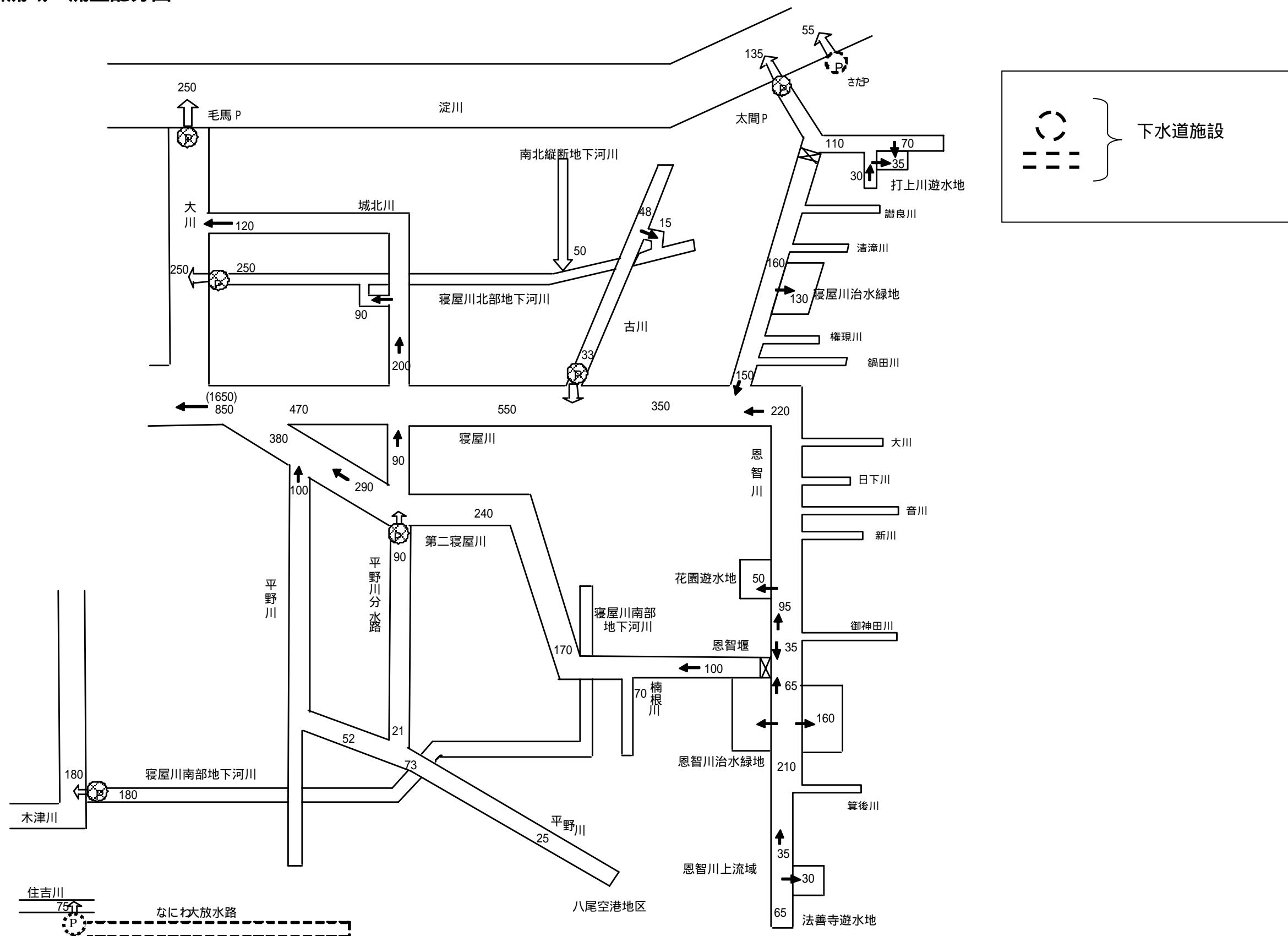


図 13 ポンプ運転調整検討フロー

寝屋川流域 流量配分図



参考 洪水予報通信連絡系統図

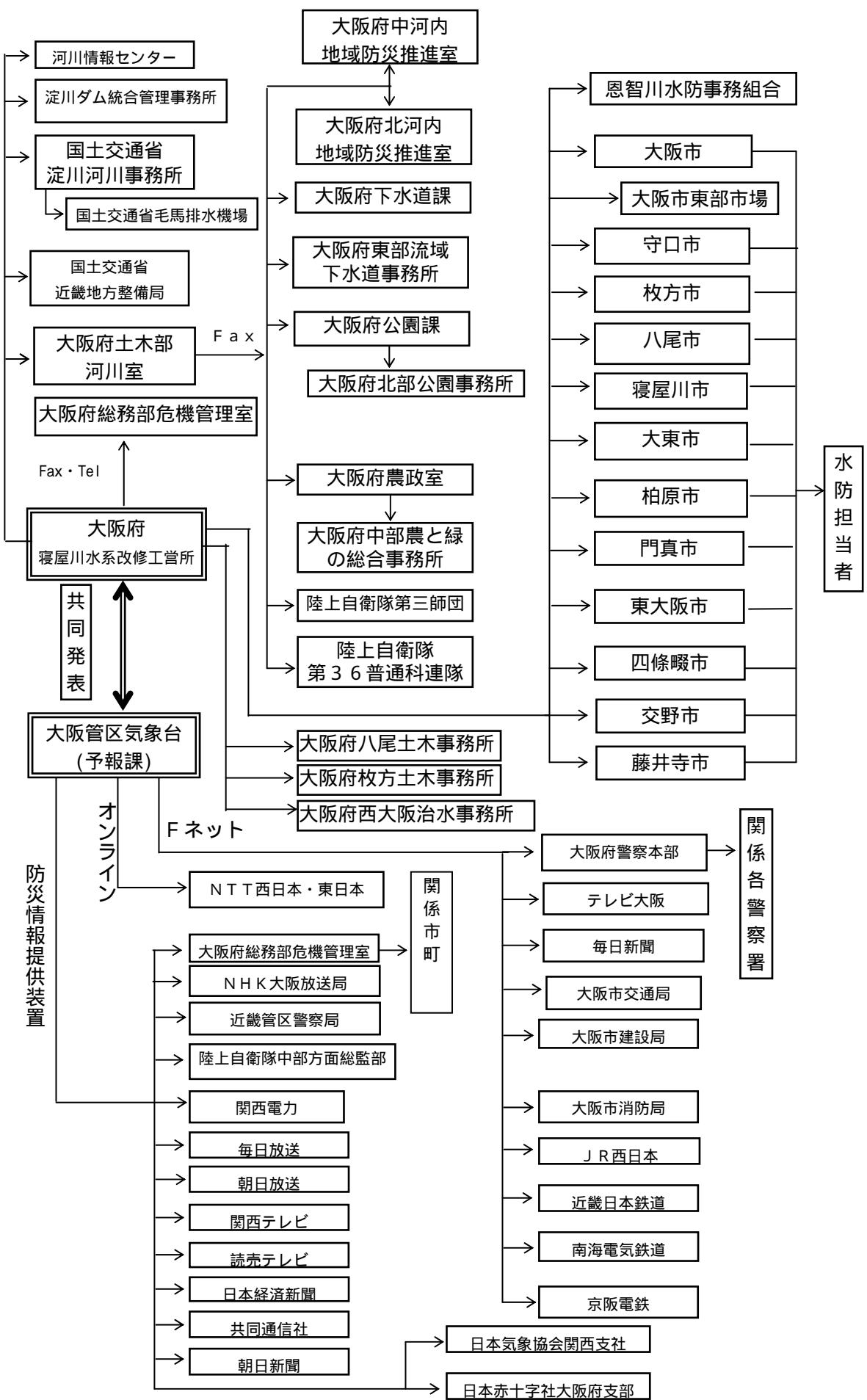


図 14 寝屋川流域洪水予報通信連絡系統図

出典：平成 17 年度 大阪府水防計画